

I 事業報告

1 事業概要

第五期の文化センター指定管理者2年目及び第四期のスポーツ施設指定管理者5年目にあたる本年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが変更されたことで施設利用や事業実施の制限が解除されながらも、引き続き誰もが安全かつ安心して利用できる環境づくりに努めながら、公益目的事業の適正な実施による公益の確保を図り、公益財団法人としての地位と役割を果たしました。

文化センターの利用状況においては人員合計で前年比20%増、使用料合計で前年比10%増、スポーツ施設の利用状況においては人員合計で前年費0.4%増、使用料合計で前年比8.3%増となりました。ただし文化、スポーツ施設共にコロナ禍前の利用水準には達せず、更なる人員、使用料の確保に向け課題が残りました。(資料1、資料2)

芸術文化振興事業ホール等事業では、市制施行75周年を記念した「みんなDEどーもくん!」や「爆笑!北関東なまりお笑いライブ」、「青春のアイドルヒットステージ」、映画会、クラシックコンサートや、市民と一緒に作り上げる「オーケストラフェスティバル」や「市民歌の集い」など、多彩な催し物を開催しました。

科学館事業ではプラネタリウム投映や、月や木星、季節の星座や天文現象を観察する「ほしぞらのさんぽ」、日本で避難生活を送っているウクライナのハルキウプラネタリウム解説員を迎え、ウクライナの星空を解説した「ウクライナの星々」などの開催と、プラネタリウム施設の一般貸出しを行い、ピアノコンサートやアーティストのミュージックビデオ撮影などで利用され、利用科学館事業の普及施設の有効利用に務めました。

市民文化センター友の会への後援事業では、アマチュア落語家を迎えた「社会人落語特選会」や、総合工芸部会会員による展示や実演の「総合工芸部会展」等の開催に協力し、来場者から大変好評を博しました。

その他、「市民美術展」、「市民書初展」の受託事業を開催するとともに、子供向けの「鹿沼屋台囃子体験教室」、「絵画ワークショップ」や「オカリナ教室」なども開催しました。(資料3)

スポーツ振興事業では、「するスポーツ」として子供から大人を対象にした各種スポーツ教室やスポーツカウンセリング、市内外より参加者が集う「平野早矢香杯卓球大会」や「鹿沼市ジュニアゴルフ大会」などのスポーツイベントを開催しました。また、「みるスポーツ」として「BCリーグ 栃木ゴールデンブレーブス vs 茨城アストロプラネッツ」や「城山杯争奪東日本卓球大会」のゲーム開催に協力しました。さらに総合型を含む地域スポーツクラブ育成・支援、自宅で出来るレッスン動画の配信、他にも鹿沼市スポーツ協会事務受託、鹿沼さつきマラソン大会記録処理業務受託など、多彩な事業を実施しました。(資料4)

今後も公益財団法人として公益性を発揮し、鹿沼市教育ビジョン計画との連携を図りながら、引き続き指定管理者として持続可能で良質な市民サービスを提供し続けられるよう一層努力していきます。